

# ゆめ伴(とも)プロジェクト in 門真 「厚生労働大臣最優秀賞」受賞

認知症の人の輝ける場づくりをしている「ゆめ伴(とも)プロジェクト」が、「健康寿命をのばそう!」アワード・介護予防・高齢者生活支援分野」で、厚生労働大臣最優秀賞を受賞した。同プロジェクトは、昨年4月に門真市社会福祉協議会、ケアマネジャー、市民団体などが実行委員会を発足し、認知症カフェや綿花栽培、スポーツイベントなど様々な取り組みを実施してきたことが評価され、受賞に至った。この表彰制度は、地域包括ケアシステムを活用して優れた取組を行っている企業、団体、自治体に贈られるもの

で、各都道府県が推薦し、評価委員会が決定する。

授賞式には89歳のメンバーを含む12人が出席。

「人と人がつながることによって生まれる笑顔が大切」と日頃の活動を報告すると、言葉だけではなく、『みんなでつなごう! 笑顔の輪』と、声を出し、みんなで手を繋ぎ、つないだ手をそのままにあげるアクションを披露。厚生省の大島老健局長をはじめとして会場内の人たちも参加。みんな笑顔で、会場全体が一つになり、厚生労働省に門真の明るく楽しい風が吹き込んだ。

審査委員長のさわやか福祉財団の堀田力氏は、「この受賞を機に、現在も不安や辛さを抱えている多くの認知症の人やご家族に、明るい希望の光になることを願っています」と語った。

は、「認知症の人が持つ力で活躍し、尊厳を保ち社会参加をするこの取り組みが、もっと全国に広がってほしい」と思っています」と講評。代表の角脇知佳さんは、「この受賞を機に、現在も不安や辛さを抱えている多くの認知症の人やご家族に、明るい希望の光になることを願っています」と語った。



みんなで授賞式に参加